

令和6年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市武儀福祉センター
-----	------------

選定方法	公募	
------	----	--

外部評価

3	水準をきちんと満たしている
---	---------------

コメント

- ・地域の特性を生かした活動を更に進めていただきたい。
- ・独自の取り組みが行われ工夫がみられる。
- ・子どもの減少の中、子どもサロンや親子教室など努力がみられる。
- ・地域住民の交流の場として更なる利用者の拡大を期待する。

令和5年度 指定管理者モニタリング結果票

施 設 名	関市武儀福祉センター
所 在 地	関市中之保 5 4 4 3 番地
指定管理者	社会福祉法人 大和社会福祉事業センター
担 当 部 課	健康福祉部 福祉政策課
指 定 期 間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日（3 年間）
1 総合評価 当センター 2 階には、東親子教室と子育てサロン（市の事業）が設置されていることもあり、日頃から高齢者世代だけではなく地域の子どもが集える施設環境に整備されていることは他の地域福祉センターにはない大変良い特徴であると感じる。また、入り口付近には、地域住民が誰でも利用できるリユース（服やおもちゃ等の交換）コーナーの設置もあり、指定管理者独自のアイデアで実施する仕組みが確認できた。ただし、現状としては地域の子育て世代が少なくなっている過疎地域でもあるため、当該地域外から足を運んでもらえる新しい仕組みや地域に在住する高齢者世代が快適に過ごすことができる施設運営を引き続き期待する。	
2 合目的性・公平性・効果性（施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮） 施設の管理業務は、仕様書どおりに実施されている。地域住民の親睦を深めていただく場としてカフェの運営をはじめ、趣味活動（認知症予防体操・手芸・俳句・習字）の開催や、地域の会合の場所にも利用されている。また、高齢者の健康増進のために、常時マッサージ機と電位治療器を開館時間中いつでも無料で利用できる環境づくりに取り組まれている。	
3 機能性・独創性（事業への具体的な取組方） 高齢者からの各種相談に応じるとともに、健康の増進やレクリエーションの便宜が図られている。また、子育て世代の利用者拡大を目指すため、昼食やお昼寝ができるよう 2 階和室の開放をするなど、子育てサロン利用者の満足度向上にも努められている。	
4 責任性・実効性（施設の運営体制・組織） 正規職員 5 名とパート職員 1 名で協力・補い合いながら施設の運営を行っている。また、武儀地域事務所や社会福祉協議会等の関係機関と連携により円滑な運営がされている。地域住民からの各種問い合わせや相談の窓口となり、地域福祉の拠点として諸機関へのパイプ役を担うことができていると感じる。	
5 安定性・安全性（管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応） 緊急連絡網を整備するとともに、市や関係機関等と迅速に報告・対応できる体制となっている。また、能登半島地震を教訓に、指定管理者として防災対策について全職員で協議し、避難経路の確認と耐震補強や非常時の持ち出し物の補充等、災害時の対応に務められている。	
6 社会性・貢献性（地域への貢献、環境への配慮等） 地域住民の各種相談窓口をはじめ、誰もが気軽に立ち寄れるよう玄関ホールにはリユース広場を設置し不要になった物のリユースやボランティア活動の支援など、指定管理者独自の工夫が確認できた。また、環境への配慮としては、利用者の利便性を損ねない範囲内で、不要な照明の消灯やゴミの分別・リサイクル活動など、エネルギーの節減にも取り組まれている。	
7 効率性・経済性（経費の縮減と収入の増加対策） 施設の老朽化が進む中で、不具合の早期発見に努めるとともに、迅速な報告・対応を徹底することで、最小限の経費で運営できるよう意識されている。また、限られた予算と事業計画の中でイベントを開催するなど、利用者の満足度を高め、利用者増加に繋げる運営に務められている。	
8 経営の健全性 年間を通じて、経費の削減を図りながら事業計画に沿った計画的な施設運営に努められている。また、利用者のニーズに対応できるよう、日頃から利用者の声を聴きながら、さらなる利用者拡大に向けた施設管理を心がけている。	
9 課題・業務改善への考え方 指定管理者の立場においては、指定管理開始から地域住民の活動拠点を目指しながら少しずつ利用者の増加に手ごたえを感じているように見受けられるが、過疎地域の特性から、新規利用者の開拓や若年層の利用者増加までには至っていないのが現状であり地域の課題でもある。この課題を解決することも重要ではあるが、まずは地域に在住する高齢者にターゲットを絞り、普段から利用が多い電位治療器の新機種入れ替えや、施設案内掲示、マットレスの取替えなどの設備投資を優先的に行うとともに、新たなイベントの開催等を広報等でアピールしながら、現在の利用者を維持しつつ、さらなる利用者の拡大につなげてもらいたい。なお、設備の老朽化については、日頃の定期点検に努め、安全性を徹底して管理してもらいたい。	

過去3か年の運営状況

施 設 名	武儀福祉センター
指定管理者	社会福祉法人 大和社会福祉事業センター
担 当 部 署	福祉政策課

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		2,693	2,954	4,022
収入	収入額(円)	5,430,036	5,189,047	5,650,053
	うち市からの指定管理料(円)	5,430,000	5,189,000	5,650,000
	他の主な収入内容			
	使用料の受入先	指定管理者	○	
	(どちらかに○)	市		
支出	支出額(円)	3,890,817	4,510,893	5,294,671
	主な支出内容			
差引	差引(円)	1,539,219	678,154	355,382
	損益の処理方法	指定管理者	○	()
	(どちらかに○)	その他(具体的に)		
職員数	職員数(人)	2	2	2
	内パート等の人数(人)	1	1	1